標（しるべ）　美しく　豊かに　たくましく

山鼻中学校だより

札幌市立山鼻中学校
学校だより
令和8年
10 月 30 日発行
臨時号

令和８年度　全国学力・学習状況調査　本校の結果と分析について

去る４月に、今年度の「全国学力・学習状況調査」が、全国の小学校６年生と中学校３年生全員を対象に行われました。（21 日英語：３技能、23 日国語、数学、30 日英語：話す・聞く）この調査の目的は、全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、これまでの教育の成果を検証し、課題となることを見いだしていくことにあります。

全国ならびに自治体（北海道・札幌市）の結果と合わせて、学校としての成果と課題を見つめ、今後の教育活動の充実や改善に役立てていくことに活用されます。

本校全体としての結果と今後へ向けての課題や取組の方向性について、全学年の保護者の皆様にお知らせいたします。

結果と分析は、全国平均と本校の平均を比較したものをもとにまとめ、以下のように表記しております。

◆全国平均より本校の平均値が＋3.1 ポイント以上の場合、「上回っている」

◆＋3.0 ポイントまでの範囲で上回っている場合、「ほぼ同程度であるが、やや上回る」

◆全国平均と同じ場合、「ほぼ同程度」

◆－3.0 ポイントまでの範囲で下回っている場合、「ほぼ同程度であるが、やや下回る」

◆－3.1 ポイント以下の場合、「下回っている」と表記しております。

【本校の国語の調査結果と今後の取組について】

- **本校の調査結果の概要**（学習指導要領の内容別）

●「知識及び技能」の平均正答率

（1）言葉の特徴や使い方に関する事項 ➢ **上回っている**

（2）情報の扱い方に関する事項 ➢ **上回っている**

●「思考力、判断力、表現力等」の平均正答率

Ａ 話すこと・聞くこと➢ **上回っている**

Ｂ 書くこと ➢ **上回っている**

Ｃ 読むこと ➢**ほぼ同程度であるが、やや上回る。**

- **傾 向**

全体的に全国平均・北海道平均を上回っており、特に「情報の扱い方に関する事項で非常に高い成果が見られる。

一方で、辞書的な意味や文脈上の意味を把握する設問（4 二）や、文章の根拠・表現効果を踏まえて記述する設問（3 四、4 三など）において課題が見られる。

- **今後の取組として**

語彙量を増やす取組（語彙指導・読書活動等）の充実を図る。

ルーブリック評価を活用して根拠の明確さを可視化するとともに、タブレット端末やスライドを活用し、資料と文章を関連付けて表現・発表する授業の工夫を図る。

【本校の数学の調査結果と今後の取組について】

- **本校の調査結果の概要**（学習指導要領の内容別）
    - 「数と式」 ➢**上回っている**
    - 「図　形」 ➢**上回っている**
    - 「関　数」 ➢**上回っている**
    - 「データの活用」 ➢**上回っている**
- **傾 向**

  各領域とも全国平均を大きく上回っています。特に「数と式」や選択式・短答式設問での正答率が高い傾向にある。

  4 観点の中では「データの活用」や、数学的な表現を用いて理由・手順を文章で説明する記述式問題の正答率が相対的に低い傾向が見られる（全国的にも同様の傾向）。

- **今後の取組として**

  図形やデータの活用に関する問題演習に取り組む際、グループ学習や一人一台端末を活用し、個々の理解度や思考プロセスを可視化しながら数学的な記述力を高める取組を推進する。

【本校の英語（3 技能・4 技能）の調査結果と今後の取組について】

- **本校の調査結果の概要**

《英語 3 技能（聞く・読む・書く） / 4 技能（話す含む）の平均正答数・スコア》

- 英語 3 技能平均正答数 ➢**上回っている。**
- 英語「話すこと」平均正答数 ➢**上回っている。**

- **傾 向**

  IRT バンド（熟達度）において、高得点帯（バンド 4・5）に位置する生徒の割合が全国平均より大幅に高い傾向にあります。

  「話すこと」調査では、条件を満たして相手に伝えるやり取りや自分の考えを述べる問題（問 16・問 17 など）において高いパフォーマンスを示しています。

- **今後の取組として**

  場面や目的に応じた実践的なコミュニケーション機会（一人一台端末を活用したスピーキング・ライティング活動等）を継続・進化させ、発信力の定着を図る。

【生活習慣や学習環境の調査結果（生徒質問紙）から】

この調査は、生徒一人一人が自分に最も当てはまるものを選択する形式で回答したものです。回答結果ならびに調査結果チャートをもとに、本校生徒の特徴について分析しました。

- **≪学校生活・生徒の意識≫**

  基本的な生活習慣が安定している 生徒の生活リズムは比較的整っており、健康的な生活習慣が身についている様子がうかがえます。

  自己肯定感と人間関係 自己肯定感や心理的安全性、人間関係に関する肯定的な回答が多く、安心して過ごせる学級環境が整っています。

  学校への満足度 学校生活や各種活動（総合・学級活動・道徳等）に前向きな姿勢を持つ生徒が多く、教育活動が生徒の成長意欲を引き出しています。

- **≪学習への取り組み≫**

  ICT 活用と情報リテラシー ICT 機器を活用した学習状況に慣れており、情報活用能力において高い傾向が見られます。

  自主的な学びへの姿勢 主体的に学習に取り組む学習習慣や自己調整力が高く、生徒の主体的な学びを促す授業が定着しています。

- **≪地域・社会との関わり≫**

  地域との連携活動の機会はやや少なめですが、社会貢献への意欲は高いため、今後コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、地域と連携した教育活動の展開を図ってまいります。

- **≪読書習慣≫**

  本校で行っている「朝の読書」以外の読書の時間が相対的に少ない傾向です。今年度から、コミュニティ・スクールの一環として、本校図書局が中央図書館と連携し、読書機械の増進につながる取組を模索しているところです。

以上、今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせいたしました。 学習状況・学力ともに全国平均を上回る項目が多く、生徒の日頃の努力と保護者・地域の皆様のご理解・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。 今回の生徒質問紙および教科調査の分析結果を今後の教育指導・学校運営に寄与させ、一人一人の学力向上と豊かな心の育成に引き続き取り組んでまいります。